

保険者として求められる組織の機能

○保険者には、被保険者等の利益を代表し、その健康増進や良質で効率的な医療の確保等を実現していくことが求められる。

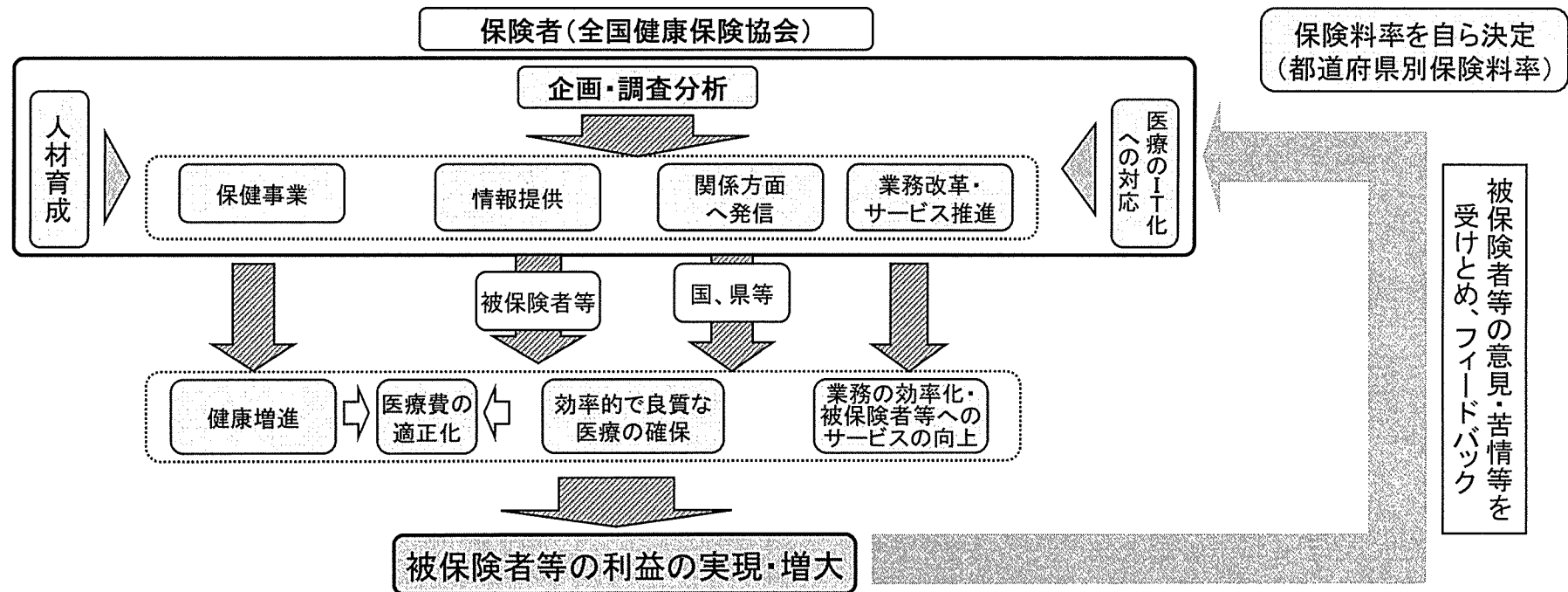
○被保険者等の利益を実現するルートとしては、

- ①健診や保健指導等を通じた被保険者の健康増進や疾病の予防
- ②情報提供を通じた適切な受診の確保
- ③国、都道府県、関係審議会等の関係方面への発信
- ④業務改革やサービスの改善等を通じた被保険者等に対するサービスの向上

等が考えられ、これらの取組を効果的に行うためには、企画や調査分析の機能が果たす役割が大きい。

○また、協会は、自主自律の保険運営のもと、被保険者等の意見を受け止め、これに適切に対応するとともに、都道府県別保険料率を自ら決定する必要があり、被保険者等の意見に基づきPDCAサイクルを適切に機能させていくためにも、企画の機能が果たす役割は大きい。

○今般の医療制度改革においては、レセプトオンライン化や健診データの保存の義務化等が行われており、データに基づき事業を実施していくための枠組みが整ったところであり、保険者としては各種データを整理、分析し、これを事業に有効に活用していく機能が求められる。



企画部門の充実強化について

各支部で保険者機能が十分に発揮できるよう、支部の企画、財政、調査分析の機能の強化を図るとともに、それを支援するため、本部におけるこれらの機能を強化し、本部の適切なガバナンスのもとに、PDCAサイクルを適切に機能させていく必要があると考えられる。

